

2017年10月3日

各位

大京グループが取り組む「働き方改革」 施工品質管理システム「D-SHIP」を開発！

～ 大京穴吹建設 建設現場の生産性向上を図る ～

大京グループの工事業を手掛ける株式会社大京穴吹建設（本社：東京都渋谷区、社長：眞鍋 忠晴、以下「大京穴吹建設」）は、建設現場における生産性の向上などを目的に、ICTを活用して施工管理業務を電子化し、帳票やワークフローを一元管理する施工品質管理システム「D-SHIP」を株式会社穴吹カレッジサービス（本社：香川県高松市、社長：大平 康喜）と開発し、2017年10月より運用を開始しますので、お知らせいたします。

■導入背景

従来の施工管理は、書面記録やメール、電話でのやりとりで行っていましたが、「建設現場の状況をリアルタイムで把握できない」「書類作成や現場写真整理の作業負担が大きい」「協力会社とのコミュニケーションが複雑になっている」といった課題があり、その一部は残業発生の大きな要因にもなっていました。また、一物件における工事関係会社は外壁補修会社、塗装会社など、専門業者を含めると10社以上に上ることもあり、各社とのデータ共有や統括部門と建設現場のやり取りにおいても、伝達スピード等の問題で支障をきたすことがありました。



<D-SHIP ログイン画面>

「D-SHIP」導入によるメリット

- ① 施工管理業務の電子化により、事務作業を削減。社員や協力会社社員の業務を効率化する。
- ② 安全管理における指示や是正内容が見える化し、的確かつ迅速な現場対応を実現する。
- ③ 現場以外からでも建設の状況をリアルタイムで確認できるなど、情報共有をスムーズにする。

「D-SHIP」は今後、大京穴吹建設が施工管理する建設現場において、順次運用していく予定です。

大京グループでは、昨年発表した「大京グループ中期経営計画」において「ICT活用」を新たな取り組みテーマのひとつとして位置付けています。不動産売買仲介業務における「VR内覧サービス」、ビル管理業務における「スマートグラスの活用」など、大京グループ全体でICTの活用を進めており、今回の「D-SHIP」の開発・運用もその一環となります。

今後も、施工品質向上はもちろんのこと、建設現場の人手不足や労働環境の整備など社会課題の解決に努めると共に、お客さま満足度の向上を実現してまいります。

■会社概要

会 社 名：株式会社大京穴吹建設

東 京 本 社：東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-19-18 オリックス千駄ヶ谷ビル

代 表 者：代表取締役社長 眞鍋 忠晴

設 立：2013年8月22日

事 業 内 容：マンション修繕工事の提案・施工
土木建築工事全般の企画・設計・施工
建物診断/耐震補強工事の提案・施工

ホームページ：<http://www.daikyo-anabuki-construction.co.jp/>